

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公開番号】特開2012-169264(P2012-169264A)

【公開日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-035

【出願番号】特願2012-11733(P2012-11733)

【国際特許分類】

H 05 B 33/26 (2006.01)

H 01 L 33/00 (2010.01)

H 05 B 33/14 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 05 B 33/26 Z

H 01 L 33/00 H

H 05 B 33/14 Z

H 05 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月21日(2015.1.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光素子群が第1の配線群を用いて直列接続されたユニットを複数有する回路を有し、複数の前記ユニットは並列接続されており、
一の前記ユニットの有する一の前記第1の配線と、他の前記ユニットの有する一の前記第1の配線と、を電気的に接続する第2の配線が設けられていることを特徴とする発光装置。

【請求項2】

発光素子群が第1の配線群を用いて行方向に沿って直列接続されたユニットを複数有する回路を有し、
複数の前記ユニットは列方向に沿って並列接続されており、
一の前記ユニットの有する一の前記第1の配線と、他の全ての前記ユニットがそれぞれ有する一の前記第1の配線と、を各列毎に電気的に接続する第2の配線群が設けられていることを特徴とする発光装置。

【請求項3】

発光素子群が第1の配線群を用いて直列接続されたユニットを複数有する回路を有し、
複数の前記ユニットは並列接続されており、
一の前記ユニットの有する一の前記第1の配線と、他の前記ユニットの有する一の前記第1の配線と、を電気的に接続する第2の配線及び第3の配線が設けられていることを特徴とする発光装置。

【請求項4】

発光素子群が第1の配線群を用いて行方向に沿って直列接続されたユニットを複数有する回路を有し、
複数の前記ユニットは列方向に沿って並列接続されており、

一の前記ユニットの有する一の前記第1の配線と、他の前記ユニットの有する一の前記第1の配線と、を各列毎に電気的に接続する第2の配線群及び第3の配線群が設けられていることを特徴とする発光装置。

【請求項5】

請求項3又は請求項4において、

前記発光素子は、下部電極と、前記下部電極上に設けられた発光体層と、前記発光体層上に設けられた上部電極と、を有し、

前記第2の配線は、前記下部電極と同じ層で形成されており、

前記第3の配線は、前記上部電極と同じ層で形成されていることを特徴とする発光装置。
。